

平成三十年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「夏」

期間 平成三十年五月一日〜平成三十年七月末

投句数 二、八四六句

特選三句

天

佇つ人の影洗ひ去る卯波かな

愛知県西尾市

齋藤

佳織

地

切株に海を眺めて春惜む

埼玉県狭山市

古谷

多賀子

人

梅雨晴れ間力餅屋に人の列

神奈川県横浜市泉区

吉田

克己

入選句

一般の部

百年の銀杏大樹や蘂ゆる

東京都町田市

秋山 昭子

比企一族ここに眠れり苔の花

東京都武蔵野市

池田 宏治

拾へとて谷戸の小径に落とし文

千葉県夷隅郡

宇野 久美子

緑陰のやぐらひつそり虚子の墓

神奈川県鎌倉市

大多喜 まさみ

青葉風沖に江の島うき立ちて

京都府京都市中京区

坂部 郁子

廻廊の木目足裏に風薫る

愛知県豊橋市

佐藤 英子

踏み入りし矢倉に残る寒さかな

埼玉県北葛飾郡

瀬戸 トメ子

大仏が見守り育つ燕の子

東京都港区

高木 さおり

一の鳥居二の鳥居にも白日傘

神奈川県横浜市港南区

田阪 武夫

坂道のそこのみ白し山ぼうし

東京都国分寺市

田村 紫衣子

文豪の朱筆数多や徽の稿

東京都杉並区

野村 親信

虚子墓前いろあはあはと額の花

神奈川県横浜市戸塚区

原 和三

老鶯や駆け込み寺の坂仰ぐ

神奈川県鎌倉市

本山 華子

大仏に大きな西瓜供えあり

神奈川県川崎市幸区

吉居 珪子

梅雨入と諾ふ風の重さかな

埼玉県比企郡

渡邊 俊一

(順不同)

入選句

子どもの部

大仏とあじさい見つめる僕がいる

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

飛弾 遥希

報国寺そびえる竹に初夏の風

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

小野 杏樹

歴史あるすすしい風が葉をゆらす

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

加藤 唯寧

大仏が泣いてるように見える梅雨

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

門松 陽太

大仏の後ろの響きホトトギス

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

瀬間 準之介

鎌倉をやさしくつつむ夏の風

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

藤田 煌我

大仏の頭の上に夏の星

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

宮本 将希

どこ見ても光波打つ五月晴

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

山下 美優

暑い日の八幡宮で祈る人

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

河原 悠太

夏は来ぬ大仏様に祈る僕

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

川村 龍芽

だいぶつはせなかをあけてすすしそう

静岡県三島市

小野 惺士朗

紫陽花の咲く参道を友と行く

東京都品川区

右近シャヒード拓登

鎌倉はウグイス森で鳴いている

東京都品川区

岡本 昂也

紫陽花が雨にぬれてるキラキラと

東京都品川区

竹内 里桜花

あじさいのしずくがおちるきれいだな

東京都品川区

福岡 勇人

(順不同)